

北陸地方の本年梅雨入りは平年より遅くなっており、今週末に入る予報です。いちほまれの生育は平年より早く進み、茎数が急激に増加し目標茎数400本/㎡に達している圃場が多くなっています。目標茎数に達していない圃場は、茎数を確保するため浅水管理の徹底で茎数を確保し、中干しと溝切りを実施しましょう。

1. JA生育調査状況(6月19日現在)

①JA全体(移植)

年度	移植日 (平均)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色
R8	5/20	32.5	399	4.1
R7	5/18	36.7	335	4.4

【前年比】

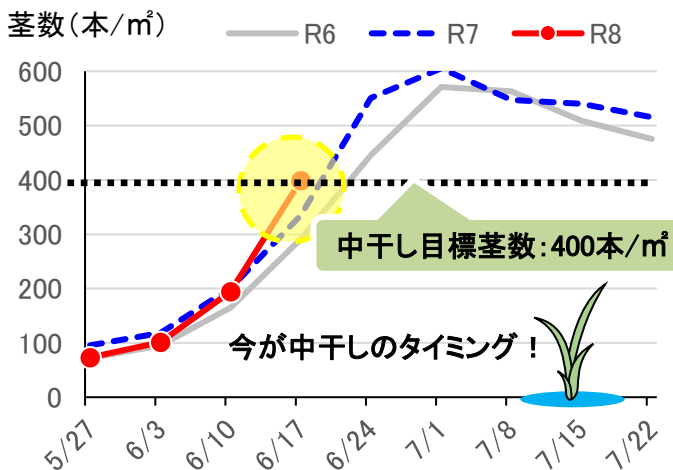
■草丈: 短い ■茎数: 多い ■葉色: 薄い

② 気象状況: 6月11日～17日(平年比)

- 平均気温 : 平年並み
- 降水量 : 少ない
- 日照量 : 多照(+5.0時間/日)

③ いちほまれの生育状況は、6月に入り気温が低い日もありましたが日照時間は多く、順調です。目標茎数を越えた圃場は速やかに中干しを行いましょう。

2. 茎数の推移について(6月19日現在)



嶺南地区(5/19移植)

3. 今後のいちほまれ栽培のポイント

①溝切りで多収穫を目指す!!

溝切りは、落水3～7日後、田面がやや固まった状態で実施。(溝切り間隔は5m)



『溝切り効果』

- 登熟良好
中干しと併せ無効分げつの抑制。
- 穂実向上
後半まで間断通水。
- 品質・収量アップ
落水適期まで灌水管理。
- 収穫作業が容易
落水が速やかで、コンバイン作業がし易い。

②中干しの程度

- 粘土土壌(湿田)
- 生育過剰

強めの中干し

- 砂質土壌(乾田)
- 生育不足

弱めの中干し

③ 県下一斉 畦畔草刈り実践デー

地域ぐるみの草刈りで斑点米カメムシの発生や帰化アサガオ類を減らしましょう。

- 1回目: 6月20日(土)
21日(日)
- 2回目: 7月 4日(土)
5日(日)

